

プログラム

9:00 受付

10:30 開会式

●主催者あいさつ ●ご来賓祝辞 ●審査員紹介 ●選手宣誓

11:00 競技開始

- 11:00～15:20 ロボ相撲・個人戦及び団体戦
- 11:00～12:10 混成チーム・1～2回戦
- 12:50～14:00 チーム対抗・1～2回戦
- 14:15～14:55 混成チーム・準々～決勝及び3位決定戦
- 15:20～16:00 チーム対抗・準々～決勝及び3位決定戦

16:20 閉会式

●成績及び各賞発表 ●表彰 ●講評

17:00 終了

*当日は、競技の進行状況によって、時間を変更する場合があります。

Junior RoboCon 2020



各賞

Junior RoboCon 2020

ロボ相撲部門

【個人戦】○優勝…1名 ○準優勝…1名 ○第3位…1名 ○入賞…5名
【団体戦】○優勝…1チーム ○準優勝…1チーム ○第3位…1チーム

混成チーム部門

○優勝…1チーム ○準優勝…1チーム ○第3位…1チーム
【審査員特別賞／個人を対象とします】
○デザイン賞…3名

チーム対抗部門

○優勝…1チーム ○準優勝…1チーム ○第3位…1チーム
【審査員特別賞／個人を対象とします】
○ロボコン大賞…1名 ○アイデア賞…1名 ○技術賞…1名 ○パフォーマンス賞…1名
○敢闘賞…1名

審査員

Junior RoboCon 2020

●審査員長
田中 孝之氏

●審査員
神原 利彦氏

●審査員
高橋 みのる氏

●審査員
宮川 勝至氏

●審査員
伊勢田 晋氏

歴代受賞者

第1回大会
上級部門競技名「ハーベスト」
優勝／ロボット名「ワンマン」 糸澤 祐太(青森市)
ロボコン大賞／ロボット名「ワンマン」 糸澤 祐太(青森市)

第2回大会
上級部門競技名「ナンバータワー」
優勝／ロボット名「ワンマン」 糸澤 祐太(青森市)
ロボコン大賞／ロボット名「ワンマン」 糸澤 祐太(青森市)

第3回大会
上級部門競技名「3D-3ライン」
優勝／ロボット名「F1」 松井 彰伸(弘前市)
ロボコン大賞／ロボット名「F1」 松井 彰伸(弘前市)

第4回大会
上級部門競技名「ウォール・スルー」
優勝／チーム名「ウィンター」 太田 玲、鈴木 健介、藤井 伸弥(十和田市)
ロボコン大賞／ロボット名「グーフィー号」 太田 光(五所川原市)

第5回大会
上級部門競技名「タワーボールJr.」
優勝／チーム名「つかえる隊」 太田 玲、鈴木 健介、藤井 伸弥(十和田市)
ロボコン大賞／チーム名「メタリック」 今 冨登、松江 映誌、笹村 祐社(弘前市)

第6回大会
上級部門競技名「コンセプト・プロデュース」
ロボコン大賞／チーム名「ごしょがわら立仗武多」 (五所川原市)

第7回大会
上級部門競技名「バランス・シーソー」
優勝／黒石市AFK&N Kuroishi 工藤 直樹、工藤 亨介(黒石市)
ロボコン大賞／五所川原市A「月光」 高谷 匠、中道 啓志(五所川原市)

第8回大会
上級部門競技名「ロボット棒綱引き2007」
優勝／「ローラ1号」 古坂 大悟(三沢市)
「ローリングスライダー」 鈴木 健太(黒石市)
ロボコン大賞／「ローリングスライダー」 鈴木 健太(黒石市)

第9回大会
上級部門競技名「ブロック・シュートJr.」
優勝／「SO」 小野寺 智(青森市)
「五所川原号」 三上 耕平(五所川原市)
ロボコン大賞／「ブロックシュート2号」 鈴木 健太(黒石市)

第10回大会
上級部門競技名「チャレンジ・ザ・ターンテーブル」
優勝／「メタルワガタ」 三上 秀一郎(青森市)
「ウッドベッカー」 山下 宗兵(むつ市)
ロボコン大賞／「タイヤ君」 三上 徹朗(青森市)

第11回大会
上級部門競技名「ブロック・ビルディング」
優勝／「メタルギア」 山形 周平(黒石市)
「大東丸」 山道 利花子(むつ市)
ロボコン大賞／「ウッドパーツ75%」 鈴木 彩日(黒石市)

第12回大会
上級部門競技名「シーソー de トライアル」
優勝／「ゲットバック」 山下 宗兵(むつ市)
「スタックビートル2」 中道 友智(五所川原市)
ロボコン大賞／「エリザベス」 升田 蓮(小泊)

第13回大会
上級部門競技名「シーソー de トライアルII」
優勝／「畔形ロボ」 百田 大輝(五所川原市)
「阿形ロボ」 泉谷 委寿(五所川原市)
ロボコン大賞／「過去の栄光 改」 鈴木 彩日(黒石市)

第14回大会
上級部門競技名「秘伝の書を奪え!」
優勝／「五所川原市少年少女発明クラブ作品No.001号」 竹花 啓汰(五所川原市)
「キャッチ and SET」 新岡 勇人(五所川原市)
ロボコン大賞／「アリゲーター号」 吾米地 凌楽(十和田市)

第15回大会
上級部門競技名「めざせ! 免許皆伝」
優勝／「ユイト号」 佐々木 惟斗(十和田市)
「Shogo号」 本田 涉悟(十和田市)
ロボコン大賞／「ユイト号」 佐々木 惟斗(十和田市)

第16回大会
上級部門競技名「ボール・オン・タワー」
優勝／「ゆいと改号」 佐々木 惟斗(十和田市)
「リオ号」 山田 理央(十和田市)
ロボコン大賞／「INFINITY RED」 長谷川 未侑(小泊)

第17回大会
上級部門競技名「ボール・オン・タワーII」
優勝／「ボール2くろう!」 工藤和貴(十和田市)
「Fork II KAZUMA」 小笠原一真(十和田市)
ロボコン大賞／「天下無双の剣」 磯野海吏(小泊)

第18回大会
チーム対抗部門競技名「ロボ・カーリング」
優勝／「飛べ!やんごスター」 須藤瑞生(黒石市)
「紙飛行機発射マシン連射式」 村岡永寿(黒石市)
ロボコン大賞／「フライングGO」 木村 昂(五所川原市)

第19回大会
チーム対抗部門競技名「ロボ・カーリングII」
優勝／「サブマリノ号」 渋谷 凌太(平川市)
「シャイン号」 今井 翔理(平川市)
ロボコン大賞／「白虎丸(びゃっこまる)」 横野 開(小泊)

第20回大会
チーム対抗部門競技名「ハーベスター」
優勝／「ハーベス宅急便」 鈴木 理華子(十和田市)
「たきやんNo.0」 小関 幸太(十和田市)
ロボコン大賞／「GODロボット」 石橋 駿汰(十和田市)



第20回大会ロボコン大賞を受賞した石橋駿汰さん



Junior RoboCon 2020

新たな時代の勝者となれ

第21回 青森県・げんねん ジュニアロボットコンテスト

開催日時
2020.2.8(土) 10:30-

開催場所
六ヶ所村総合体育館

六ヶ所村大字尾敷字野附521-1

ATV青森テレビで番組放送

2020年3月20日(金・祝) 14:55-15:50

入場無料



ロボコン特設ページ

https://www.jnfl.co.jp/ja/pr/event/robocon/

主催／日本原燃株式会社 共催／一般社団法人青森県発明協会
後援／青森県、青森県教育委員会、六ヶ所村、六ヶ所村教育委員会、十和田市・弘前市・青森市・五所川原市・黒石市・三沢市・小泊(中泊町)・平川市・六ヶ所村・板柳町の各少年少女発明クラブ、株式会社青森テレビ

「紙コップ」のボディに、モーター軸を使用した2本の足を取り付け、素早く動くロボットで相撲を取ります。大きめの土俵内を自在に動き回る取り組みは、スピード感もあり迫力満点です。試合は個人戦と団体戦を行います。

競技概要

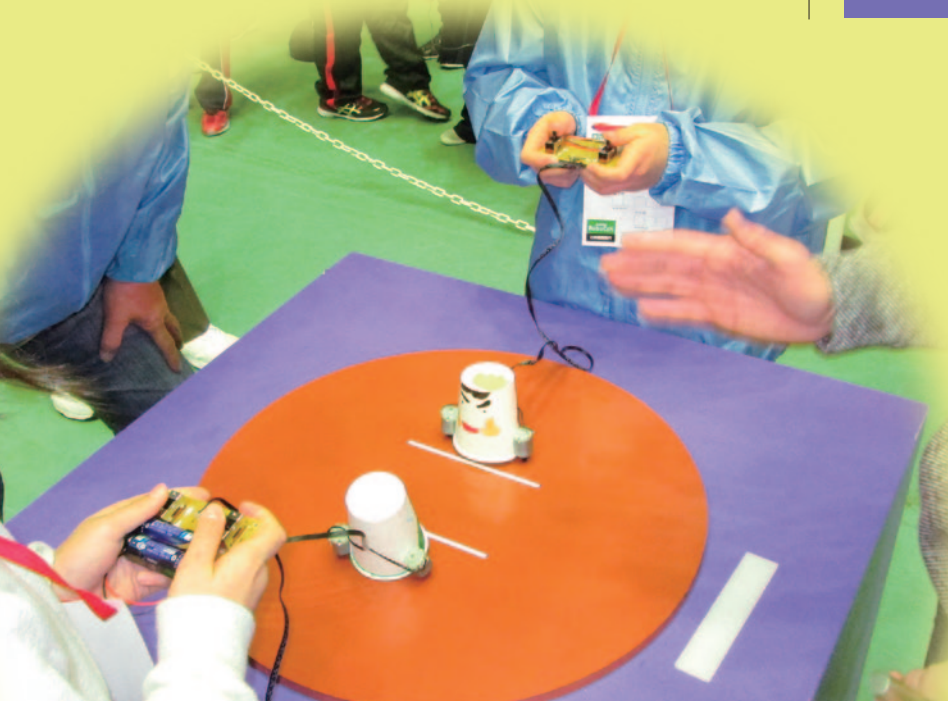
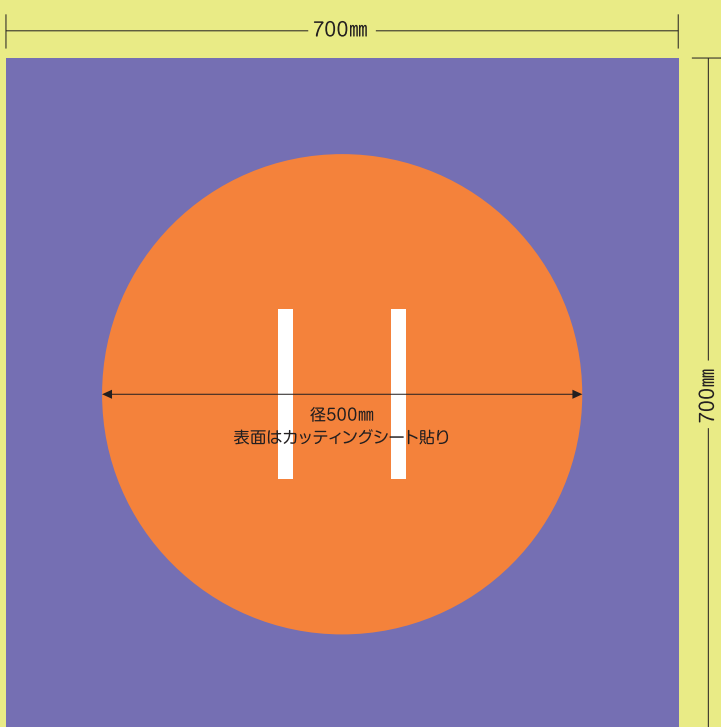
- (1) 行司の合図により取り組みを開始します。
- (2) 勝負は最後まで土俵に残った方(または立っている方)の勝ちとします。
- (3) 土俵を割ったのが(または転倒したのが)同時に行司が判断した場合は、取り直しとします。
- (4) 対戦は、以下の方式で行います。

●個人戦

- ① 試合は序の口戦(1回戦)から十両戦(3回戦)までを以下の方式で行います。
 - 序の口戦: 7戦中4勝で勝ち抜け
 - 幕下戦: 5戦中3勝で勝ち抜け
 - 十両戦: 3戦中2勝で勝ち抜け
- ② 幕内戦(決勝戦)は、トーナメント方式で行います。

●団体戦

- ① 初戦からすべてトーナメント方式で行います。
- ② 3対3で対戦し、先に2勝したチームの勝ちとします。

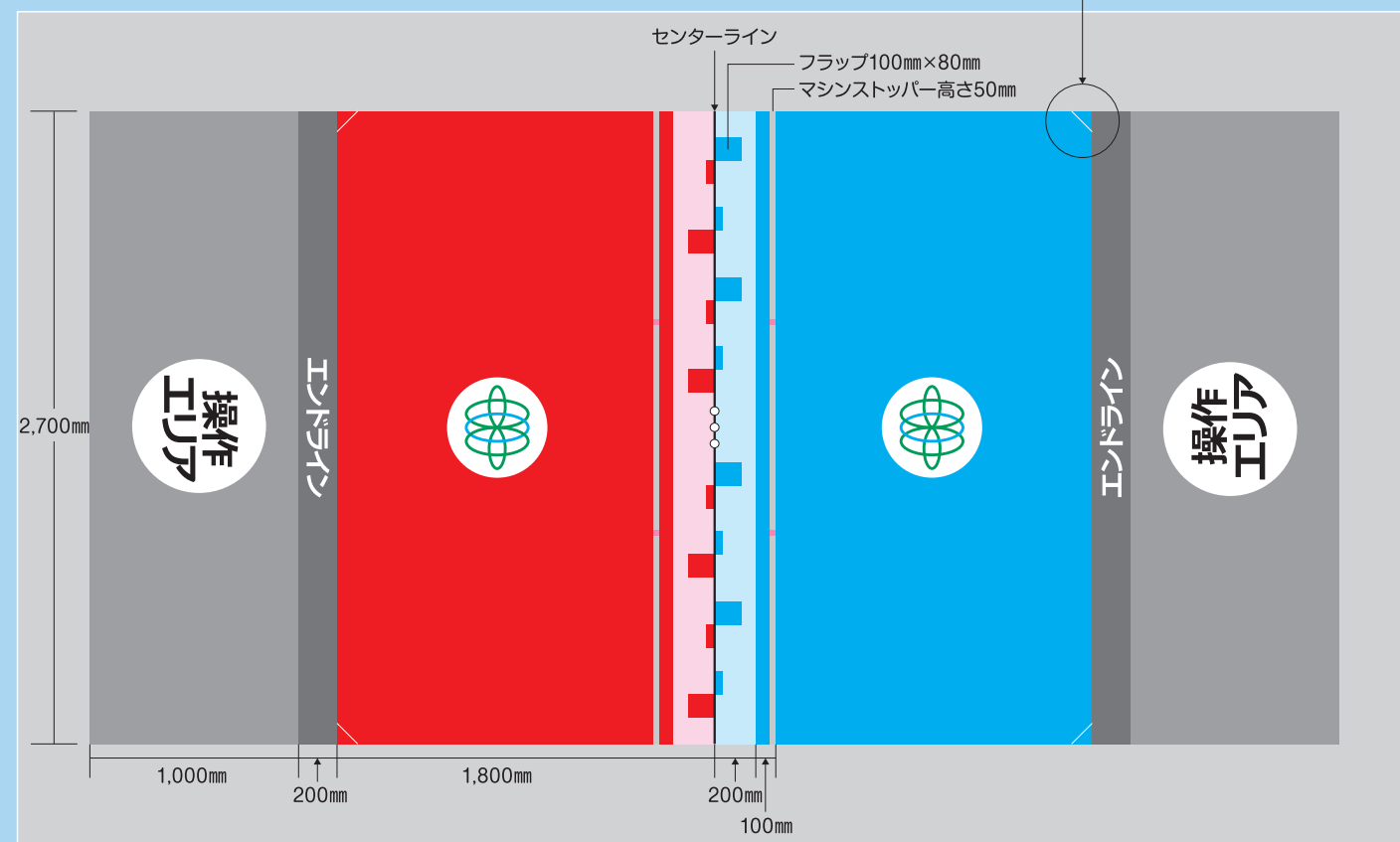
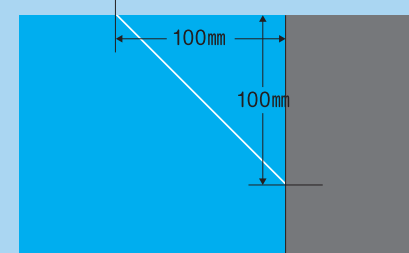
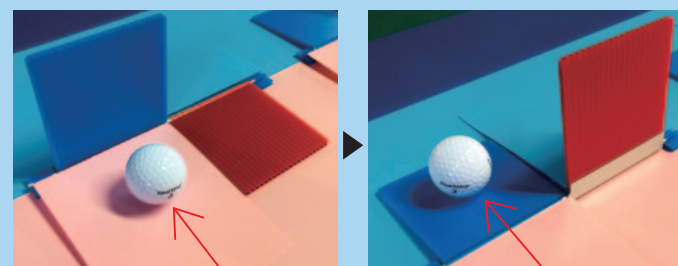


センターライン上に8基設置されたフラップにボールをぶつけ、自チームの色の起き上がっているフラップの数を競います。なお、競技終了時、フラップが同得点の場合、自チームエリアにボールが少ないチームが勝利となります。正確なボールコントロールと広い視野、冷静な判断力が勝負の鍵となります。競技は各クラブから選出されたメンバーによる1チーム3名の混成チームを結成して行います。

競技概要

- (1) 各クラブから、3名または6名がエントリー可能とし各クラブの混成チームを(1チーム3名)を結成します。
- (2) 競技はセンターラインにセットされた8基のフラップにボールをぶつけて反転させ、自チーム側の色の起き上がっているフラップが多いチームの勝利となります。
- (3) フラップを倒すための計21個のボールの配置は各コートに9個ずつ、センターライン上の中央に3個の配置となります。

- (4) センターラインから300mm離れた位置に各コートマシンストッパーが設置され、ロボットがフラップに接触することはできません。
- (5) 競技終了後、フラップの色が同点の場合、自チームに残っているボールの数が少ないチームの勝利となります。
- (6) 競技時間は3分とします。



競技コート内のアイテムツリーにある果実に見立てたボールをロボットで収穫(ハーベスト)して、得点ボックスや得点ゾーンに運ぶ競技です。大きさの異なるボールを素早く、正確に運べるかが勝利の鍵となります。競技は各クラブの代表チームによる対抗戦を行います。

競技概要

- (1) 各クラブから選抜された2名が1チームを結成します。(各クラブとも2チームまで出場可能)
- (2) 自陣コートのアイテムツリーから大玉(ソフトボール)8個と小玉(硬式テニスボール)12個をロボットで回収し、コート中央にある得点ゾーンや得点ボックスへと運びます。
- (3) 競技時間は3分とし、時間内に多くの得点を獲得したチームの勝ちとします。
- (4) 得点ゾーンにボールを置いた場合は大玉小玉問わず、得点は1点とします。
- (5) 得点ボックス上のボールの得点は、大玉は3点、小玉を2点とします。

- (6) ボールやロボットが競技コート外に完全に出了た場合はボールは没収となり、ロボットはスタート位置へと戻します。
- (7) 同点の場合はチームの代表1名による延長戦を行い、先にボールを得点ボックス上に置いたチームの勝ちとします。

アイテムツリー仕様

- 大玉(ソフトボール2号公式球)
直径約90mm、重さ約165g
- 小玉(硬式テニスボール)
直径約65mm、重さ約55g

■セッティング例

